

大震災から10日以上立ち、みなさんの気持ちが若干落ち着いてきたのか、2日ほど前から共通の知人の安否確認、また支援策のメールや電話での問い合わせが入るようになり、その返信、連絡等で忙しく、あっという間に日が過ぎる。

やはりというか、情報が回り廻って家を流された知人も数多く、中には家族が存在不明の方も。

知人、元学生からこうした時にどう声掛けするか、頭の整理がつきかねていた。

今朝、元学生から自分たち姉妹は車で逃げたが家にいた母親が家もろとも流され、今も所在不明との直接のメール。

このメールに「ついに来るものが来た！」という感じで、この元学生にどう声をかけてあげるか、また、これからもこうした連絡が直接入るだろうと予想できるだけに、今は複雑な心境……。

大震災で同じ境遇の人は多いだけに、「自分も頑張らないと…」とはあまり思わず、自分の経験は自分一人だけのものだけに、辛い、悲しい、寂しい気持ちを誰かに話すことが元学生の現時点で大事なことだろうと思い、感情、気持ちの聴き役を買って出ようかなと思っている。

さて、この団地は高齢者が多く、高台だけに緩やかだが長い坂道を上がって隣の団地にある給水所に行くのは大変だろうなあと思っていたところ、当団地内の集会所に給水車が21日から来るようになった。

ようやくきめ細かい支援が始まったよう。

ただ、昨日、隣のご主人が早速行ったようだが、5分ほどかかるので重い水を運ぶのはやはり大変だと言っていた。

我が家は先日親戚等が運んでくれた水があるのでここ2、3日分は大丈夫だが、この分がなくなると水道が出る月末までの一週間、頑張るしかないかな。

生協の灯油も今週から配達されるようになり、これで灯油の心配なし。

また、ガソリンもこの週末あたりから開くスタンドも多くなるとの報道。

昨夜は小雨でこの時とばかりに水洗トイレ用に何度か運んだが、深夜だったし雨水をバケツに貯めるのに時間がかかるので途中で止めて寝たので浴槽が満杯に至らず、残念…。

ガスは新潟からのパイプライン供給のお陰で、この団地は週末に開栓とかで、それまで知人が貸してくれたIH卓上コンロがあり調理はできているので、後は食材の調達の問題かな。